

シルバー 人材センター会報

社団法人
流山市
シルバー人材センター
事務所
流山市東初石3-103-18
電話
0471-55-3669



利根運河のさくら並木

いあつち



(社)流山市シルバー
人材センター 会長
(社)千葉県シルバー
人材センター連合会理事

及川正一

平成十年度は激変の年であります。昨年度からの社会、経済上の不安をそのまま引きつり、一向に景気の先行きの不透明感を薄める気配がみられないからであります。

金融、証券の破綻や不祥事件の再生は、しばらくは険しいものと予想されます。

全国のシルバー人材センターの組織においても、政府の行財政改革によって補助金が今年度より向う三年間、前年比十パーセントづつ減額されます。まさに真冬の到来を思わせます。

このような試練の時代において、当センターは小さい団体ながら地域社会に貢献できる体制を作り、力強く生きぬかねばなりません。

今年度は当センターの設立十五周年としてのひとつの節目を迎えます。この機に会員数五百名、受注高二億五千万円の目標を達成し、基盤の安定化と自立化を図る所存であります。会員各位の絶大なご協力をお願いいたします。

「コンピュータ導入により
四月から当センターの
事務処理が変わります」

事務局 長

当センターは、昭和五十九年に設立以来十五年余を経過し、役員並びに会員の皆様の努力により事業も着実に伸展し、年間契約高は二億円余、会員数も四百三十名余に達しています。

このため業務全般について電算化を推進する必要が生じてきました。そこで平成十年度（四月から）事務関係全般をコンピュータ処理に切替えます。

このシステムは「エイジレス80」の名称で、(財)東京都高齢者事業振興財団と(株)野村総合研究所が共同で開発されたものです。

平成九年八月現在、全国で

五百二十七センター、県内では十六センターで導入されています。当センターで導入する最新のシステムは第三次改良システムであります。

さて、電算に移行する業務は、会員の登録、就業実績、履歴管理、受注の登録および管理、就業希望者の検索および照会などです。会計処理としては、請求書、入金・未入金管理、配分金計算および振り込み処理、予算、決算の会計処理、給与計算など多岐にわたります。また統計などのデータ類も出力できるようになります。

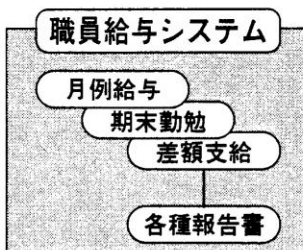
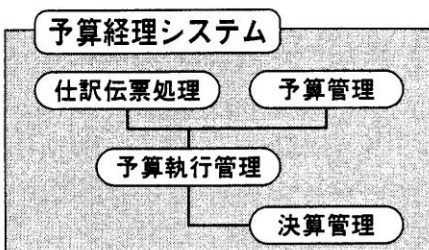
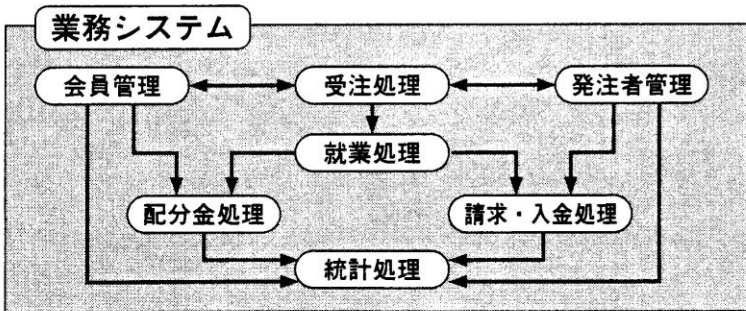
発注者の契約内容や、会員の就業状況などはもとより、

契約実績額、入金状況なども画面上だけでもたちどころに把握することが可能になります。

コンピュータの導入は、当センターの事務処理の省力化、効率化や迅速化などにより、発注者サービスなどにきめこまかい対応ができることと、労働省等の統計報告書の提出も迅速化が図られます。

また、コンピュータ化は事務の標準化により、一定の事務レベルの確保も狙いのひとつでもあります。

しかし、コンピュータは魔法の箱ではありません。各伝票類やデータなどは、事務局で正しく入力しなければなりません。



会員の皆様には、配分金の計算書や会員の固有番号が変更されます。作業日報は当面、現在の様式としますが、新番号の正しい記入や事務局が間違いなく入力できるよう内容の記入と提出期限の厳守をお願いいたします。

事業実績報告書

平成9年度(4月~12月)

月別	件数	就業人員		事業収入			合計
		人員	延人員	配分金	材料費	事務費	
4	169	487	3,877	14,112,679	742,177	1,369,541	16,224,397
5	220	591	3,906	14,521,883	726,020	1,466,058	16,713,961
6	261	674	4,222	15,482,163	782,924	1,600,518	17,865,605
7	249	653	4,204	15,943,843	633,077	1,540,152	18,117,072
8	220	612	4,121	16,066,967	994,235	1,571,731	18,632,933
9	251	649	4,039	15,575,836	1,075,124	1,569,763	18,220,723
10	281	702	4,349	16,810,265	804,203	1,678,188	19,292,656
11	239	611	3,617	13,543,119	696,013	1,400,702	15,639,834
12	225	573	3,625	13,275,852	588,567	1,384,530	15,248,949
計	2,115	5,552	35,960	135,332,607	7,042,340	13,581,183	155,956,130
前年度	1,929	4,930	33,894	128,182,806	5,462,919	9,706,161	143,351,886
%	109	112	106	106	129	139	108

まず健康と老後を生きぬく努力を

江戸川台西 犬養 吉胤

高齢者のよりよき生き方は、まず自分の健康管理を第一に考えて栄養と休養、そして適度の運動のバランスを保持することにある。

今、動脈硬化の一因として糖分のとり方が挙げられているが、砂糖は体内で果糖とブドウ糖に分解し、一部はエネルギー源に残りは中性脂肪として体内に蓄積され、恐ろしい脂肪肝の原因にもなりかねない。これを正常に保つには、砂糖にして一日五十グラム以下に保つべきであるが、現実

に患者群の採取量は数倍であると専門家は指摘している。心すべきことである。

私は以前新聞で「三かく運動」の老化防止効果の記事を見た。それは(一)汗をかく(二)恥をかく(三)ものをかく、の三つ

である。これはとりも直さず一日一回は汗をかく運動をすること、ものごとに引っこみ思案にならず積極的であること、そして学び書くことによつて脳を刺激し活性化を図ることをいうのである。

年をとるとかく面子にこだわりがちになる。シルバール材センターの人達は、就業による社会奉仕の自覚を忘れることなく、過酷な職場環境との調和と未就業会員への温かい心をもちながら、一致して進んで行きましょう。



九年度

会員研修の旅

若葉台 宮原昭三

互助会主催の会員研修旅行は、十二月四・五の両日初冬の房総半島を訪ね小湊の「ホテル三日月」一泊で実施された。当日は晴天に恵まれ市役所前を午前八時、六十三名の参加者が二台のバスに分乗して出発した。

市川松戸街道・中山競馬場前を通りサッポロビール千葉工場に到着、背の高いスマー卜な案内係に導かれた。身長はとたずねたら企業秘密との答えだった。大型スクリーンアストロビジョン、階段観覧席は自由に背が倒れるようになっていた「人類とビール歴

史紀行MAN&BEER」を観る。最高にぜい沢なAVを心ゆくまで堪能した。ビール工場内をひと通り見学して、最後は出来たてのビールで大満足した。ほろ酔いの後、千葉ポートタワーの下にある千葉共済会館のレストランで昼食、天気も上々、ポートタワーの景観も格別だった。

途中、長南町の笠森観音に参拝。深い切り通しでこの観音様の朝立山は約二万坪、山岳宗教のなごりの八つの尾根を持ち、杉、楠、松、檜などの老樹がうつ蒼と茂り数百種の草木とあい

まって「天然記念物笠森自然林」に指定されている。仁王門、観音山の山頂に建つ本堂は、四方が舞台になっていて一般に四方懸崖造りといわれ、日本でも現在唯一の構造で国の重要文化財に指定されている。階段は土足厳禁で登ると寺務所がある。廻廊に出れば四方眺望はすばらしく、眼下に房総の山々が見渡せる。正面の十一面観音へは廻廊から入口より一本の縄が渡されている。そこにはハンカチや手



千葉ポートタワー



サッポロビール千葉工場

紙が折り重なって結ばれている。十一面観音になにか願い事があるときはここに結ぶと必ず成就するといわれている。

小湊ホテル三日月には予定時刻に到着、早速十階にある展望浴場へ、眼下に広がる美しい大海原を見て温泉に入ると疲れやストレスから解放され、ジェット風呂、野天風呂、酒樽風呂と知らない人との談話も楽しかった。長野のビニールハウスで野菜を作っている人は二泊の旅行中に五十の俳

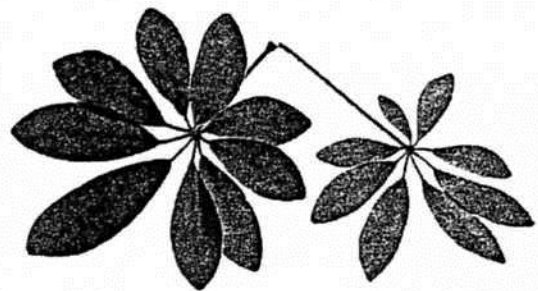


句を作るのだと張り切っていた。

宴会場には時間通り集合しないので全体の写真が撮れず幹事さんもやきもき。しかしカラオケは大いに盛り上がり時間切れで残念だった会員が多かった。最後は麻生氏の若かりし頃応援団で鍛えた独特の手拍子で締めくくった。早朝風呂に行き部屋の鍵をかけられて廊下に立っていた人、フロントに鍵を返さささないでバスが予定通り出発できなかつ

たこと、思い出も尽きない。帰路は野島崎燈台を過ぎ館山パラダイスではハイビスカス、アナナス、ブーゲンビリア、トロピカルバード動物広場、蝶の館など大変眼の保養になった。

昼食は金谷サービスセンターで頂き、十分なもてなしで大満足。幹事に感謝しつつ全員それぞれ無事に帰途についた。



地区懇談会開かれる

編 集 室

会員の交流を図る趣旨で、南・北二会場で恒例の地区懇談会が開催された。事務局長の司会により、まづ及川会長の挨拶から始まった。

「今年には役員改選の年に当りますが目標は会員五百名事業収入二・五億を希望しております。今日はあくまでも意見交流の場でありますから形式にとらわれず自由に発言し合い、自主・自立・共働・共助の精神に積極的に取り組まれるよう有意義な会を期待しております。」

(Q・質問、A・回答)

Q、平成十年の予算はどうなっているのか。

A、補助金削減が決定しており非常に厳しい編成が避けられない。

Q、手当を一方で減額し、一

方で増額していることはないか。

A、実態を調査するが減額分を他に増額することはあり得ない。

Q、交流会は各地区毎に実施すべきでないか。

A、その通りで十年前は各地区毎にやっていたが就業実態の変化や物理的理由により南部と北部に分けて実施せざるを得なくなった。これはこれで良いのではないかとという意見もかなりある。

Q、第三土曜日のボランティア活動はどこでやってもよいのか。

A、特に拘束はないのでどこでやっても差支えない。

Q、公共部門は一人一カ所勤務と決っているのではないか。



A、適任者が見つかるまで止むを得ず兼務を願っている場合がある。

Q、選考委員はどこでどういう形で決めるのか。

A、各地区毎に委員を選出して、選出された人が中心になってやって貰いたい。

Q、大工道具や植木鉢等は自前だが考慮して頂けないか。



A、シルバーは自分持ちが原則である。
Q、勤総は従来の四人制に戻らないか。
A、市との契約事項であるのでむづかしい。

※紙面の関係上、質疑の全部をのせられなかったことご了承下さい。

実施日	会 場	司会進行	出席会員数	実施地区
二月二日(月)	センター二階	事務局長	五十七名	一区、六区
二月九日(月)	平和台福祉会館	〃	三十七名	七区、十区

家事援助サービス事業の拡大について

江戸川台西 安西みつ江

一 福祉・家事援助のサービス

1	除 草	14	ペットの世話
2	調 理	15	出張の理・美容
3	掃 除	16	食事の介助
4	洗 濯	17	体の清拭
5	買 物	18	高齢者の話し相手
6	留守 番	19	通院介助
7	代 筆	20	身の廻りの世話
8	代 読	21	幼児の送迎
9	各種代行	22	催事場での託児
10	来客手伝(葬儀等)	23	子 守
11	布団干し	24	産前産後の世話
12	植物の水やり	25	諸々の技能者(裁縫、 生花、手芸等)指導
13	病院施設の 洗濯物たたみ	26	そ の 他

人口の少子化、高齢化、核家族化、女性の社会進出等により、地域社会における福祉家事援助サービスの需要が急速に増加しております。今当シ
ルバーセンターも従来からセンターにふさわしいとされている老人介護等にかかわ

るサービス及び家事に関する援助サービスの提供を積極的に推進し量の拡大を図ろうとしております。特に家事援助サービスについては、その範囲がますます広がってきており左記表のように種々の仕事があり、ぜひ多くの会員の勇気ある参加をお待ちしております。現在これらの仕事に積極的に取り組んで下さる会員が少く、従って稼働量も少ない状況でありますので、未就業の女性会員のみでなく、男性会員も新しい就業分野として組織的に取組んで頂きたいと念願しております。

去る一月二十三日(金)、家事援助サービスに従事されている方々にお集り頂き、交流を図ると共に忌憚のないご意見や問題点について聞く事ができました。

当日ご出席の会員(敬称略)

- 青木 長子(駒木台)
- 海老原 久(美原)
- 篠塚 行江(西初石)
- 滝脇ヒロ子(西平井)
- 土田 富代(桐ヶ谷)
- 山口 敏子(駒木)

まず及川会長から

「現在介護関係のサービス提供が少く殆ど家事サービスのみにあります。時代の要請に副うためにも三十〜四十名位の編成で別表の様な部門の拡大を図り、事業部門の重要な仕事と位置づけて行きたいと考えておりますので今後共ぜひご協力を頂きたい」旨の挨拶があり、懇談に入った。皆様から貴重なご意見や問題点の指摘があり今後の指針に大変参考になりました。



一 私の体験から一

他人様の家へ入っての仕事は初めは不安でしたが、続けているうちに信用され、皆さんに喜ばれ、毎日来て下さいとお待ちしている方が増えて来ました。何年かやってみて、多少の気づかれはありますが、大したトラブルもなく、誠意をもって接して頂くと家族の一員として頼られる様になり、やり甲斐と充実感をしみじみ感じている昨今であります。



寅年生まれ大元氣



- ⑧ 望ましい
- ⑦ 心の通い合いが
- ⑥ 事務局と会員の
- ⑤ のど飴
- ④ 羊羹
- ③ 日本の島めぐり
- ② 釣り
- ① 千葉県

質 問

- ⑧ センターに希望
- ⑦ 嫌いなもの
- ⑥ 好きなもの
- ⑤ 今年やってみたいこと
- ④ 趣味
- ③ 出生地
- ② 生れ年
- ① 氏名

- ⑧ 与へてやること
- ⑦ 未就労者へ職を
- ⑥ 旅行
- ⑤ 晩酌の一杯、
- ④ て全うしたい
- ③ 場を誇りをもつ
- ② 今年も現在の職
- ① 読書



- ⑧ を与えること
- ⑦ 未就労者に仕事
- ⑥ 利己主義の人
- ⑤ 厚かましい人、
- ④ 習字
- ③ 洋酒、和酒
- ② 新潟県
- ① 青木 賢治



- ⑦ 焼酎
- ⑥ 酒
- ④ 茨城県
- ③ 原部 信芳
- ② 大正十五年
- ① 大正十五年



- ⑧ 外注の仕事
- ⑦ カラオケ
- ④ 民謡、おどり
- ③ 岩手県
- ② 菅野 ツナ
- ① 大正十五年

- ③ 福島県
- ② 昭和十三年
- ① 林原 京子



- ⑧ 体が丈夫なうちは働かせてほしい
- ⑦ あまりない
- ⑥ 畑の野菜づくり
- ⑤ 酒(少々)
- ④ 煙の野菜づくり
- ③ 昨年の延長で、とくはない
- ② 剣道、囲碁
- ① 田中 英二
大正十五年
新潟県

- ⑧ 仕事をもらいたい
- ⑦ あまいもの
- ⑥ コーヒー
- ⑤ ほんさい
- ④ 千葉県
- ③ 大正十五年
- ② 戸部 正行
- ① 千葉県



- ⑧ 仕事をふやしてほしい
- ⑦ 賭事
- ⑥ お酒
- ⑤ 海外旅行
- ④ ゲートボール
- ③ 群馬県
- ② 大正十五年
- ① 遠峯 茂



- ⑦ キムチ
- ⑥ 旅行
- ⑤ 瀬戸内海旅行
- ④ 読書
- ③ 東京都
- ② 大正十五年
- ① 宮野 正男



- ⑥ 旅行、酒
- ⑤ 書道
- ④ 釣り
- ③ 東京都
- ② 大正十五年
- ① 丸山 正敏



- ⑧ 今年もよろしくお願いたします
- ⑦ 人込みの中・高い所
- ⑥ ビール・ウイスキー・甘いもの
- ⑤ 今年も平凡に
- ④ 園芸・温泉
- ③ 東京都
- ② 大正十五年
- ① 新保 信明



- ⑧ 防寒服の支給
- ⑦ 甘いもの
- ⑥ 魚
- ⑤ 散歩
- ④ 読書
- ③ 千葉県
- ② 昭和十三年
- ① 海老原 博

平成 9 年度
安全就業状況について
安全就業対策委員長 犬 養 吉 胤

会員の安全就業については前年四件の事故が発生していることから、今年度は安全目標を「災害零」に置いて七月の安全就業強化月間を中心に幟旗の掲出、腕章の着用、安全バッチの配布、更には毎月第三月曜日に安全パトロールを実施するなど、安全意識の高揚、災害防止対策に努めてきたところである。

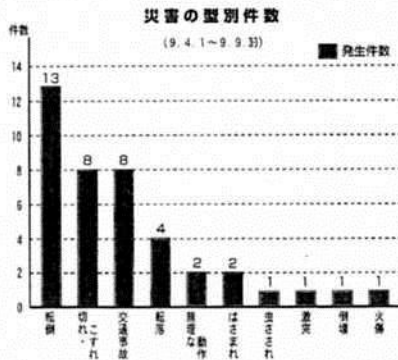
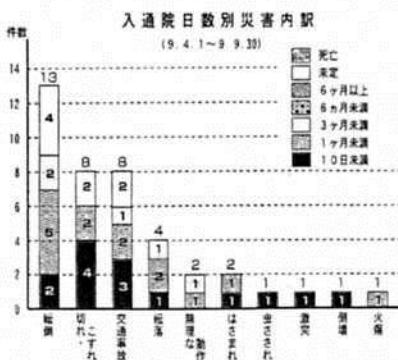
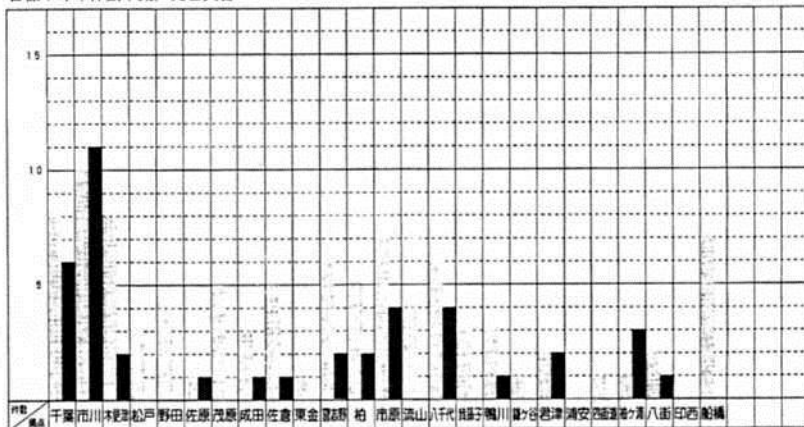
しかし残念ながら下期に入って、災害事故が一件発生してしまった。また、ガラスを割ったりするような物損事故も何件か発生している。

一人ひとりが安全の重要性を再認識して安全就業を基本に業務に従事していただきたい。

なお会員が就業中に人身事故等が発生した場合は、速やかに事務局に報告願いたい。

平成 9 年度各センター毎災害実績表

目標：昨年件数半減/死亡災害 0 (9.4.1~9.9.30) (□平成8年度実績 ■平成9年実績)



会員の広場

誤植以外原文のまま

俳句

齒科治療終りて窓は春近し
齒の弱き妻いそいそと七日粥

(江戸川台西) 宮坂 鷺水

つくばいに雪積らせし鳥一羽
大雪に身の丈余る案山子かな

(谷) 染谷くに子

垣根越し梅の便りを声高に
延々と人の背を見つ初詣

(松ヶ丘) 遠峯 茂

大寒やこわごわ歩む凍り道
放置車のかごにとっさり雪つもる

(東深井) 村上 旭

三輪山の神を拝して年あらた
諏訪神社こだまとなりぬ初鴉

(宮園) 津村 六朗

秋空に大河を見せる鯛雲
落葉ふむ足音さざむ万歩計

(向小金) 内田 弘

雪どけの雨だれの音が春をよぶ

(西初石) 石井 林三

梅転がる乾いた音をたてながら
麗かや音の遅れを見ておりぬ

(江戸川台西) 相庭 泰雄

短歌

あざやけき紅葉の落葉ふみゆくに
本土寺の色すてに冬暮色なり

(ここのす台) 徳矢 英子

痛ましや晴れ着に靴の姿みる

雪のふりしく成人式に

(東深井) 村上 旭

我が身より手塩にかけた盆栽の
大雪の下今日も眠れし

(谷) 染谷くに子

暖冬の雪駐輪場に積る朝
いつてらっしやいの声響きおり

(東深井) 長島 主善

豪雪に足とめられて三ツ泊り

湯の香に酔いて帰路を忘るる

麓より雲一ツなく富士の嶺

朝日に染る雪の絵姿

雪溶けて見返り富士も遠ざかり

家路を急ぐ 喜びの顔

(江戸川台) 青木 啓二

川柳

羅針盤動かぬままに時流れ
川柳の毒説に酔う嫌な時代

(向小金) 内田 弘

人生の答えをみたり駐輪場

(東深井) 村上 旭

事務局便り

会員の動き

(平成九年九月一日、
十年二月末日)

新入会員 四十八名
退 会 員 十四名
総会員数 四三四名

おくやみ申しあげます

平成九年十一月死去
中島 忠治 さん(野々下)
平成九年十二月死去
矢野 栄三 さん(西深井)
謹んでご冥福をお祈りいた
します。

【地区別の会員数】

地区別会員数は次の通りで
す。あなたの所属区を確認し
て下さい。不明の方は会報第
十九号ご参照願います。

地区別会員数表

区	会員数	町 名
一	三五	西深井・平方・美原他
二	六十	東深井・こうのす台
三	三五	江戸川台西・富士見台他
四	三八	江戸川台東・駒木台・青田
五	四三	西初石・若葉台・下花輪他
六	五一	東初石・駒木・美田・十太夫
七	六一	流山・九平和台加三輪野山他
八	三三	野々下・長崎・芝崎他
九	四五	南流山・八・西平井・鱒ヶ崎他
十	三三	向小金・松ヶ丘・名都借他
計	四三四	(二月末現在)

コンピュータ

導入ニュース

の研修を行なって会員関係の業務データを
入力します。今
後の進行は、四月初旬に操作
次いで四月中旬以降に順次経理業務データを
入力して本格稼働に入ります。
ハードは、本体と端末用高性能パソコン二台、
レーザプリンター一台の構成で、現状では最適システムです。

コンピュータシステム機器

の設置は三月下旬に完了。今

後の進行は、四月初旬に操作

次いで四月中旬以降に順次経理業務データを

入力して本格稼働に入ります。

ハードは、本体と端末用高性能パソコン二台、

レーザプリンター一台の構成で、現状では最適システムです。

全シ協設立

十五周年記念

大会で表彰

全シ協設立十五周年記念大会において、関 英夫会長よりシルバー人材センター事業関係功労者として(社)流山市シルバー人材センターから次のとおり受賞されました。皆様と共に心からお祝い申しあげます。

長期就任シルバー

人材センター理事(会長)長表彰

(社)流山市シルバー人材

センター会長 及川 正一

永年勤続シルバー

人材センター職員表彰

(社)流山市シルバー

人材センター 渡辺キミ子
中山百合子

なお、当県関係では長期就任理事(会長)長表彰は九名の方が受賞、永年勤続職員では四七五名の方が受賞されております。

編集後記

昔から寅年は転変地異が起
きる年といわれている。当セ
ンターにも変革の波が押し寄
せるだろう。(Y)

暗い世相の中で、明るい話
題としてはアクアラインと海
ホタルの完成だ。千葉県の活
性化に期待したい。(K)

「母と子の人生問答春浅し」
がらあきの山手線内の一景
ですが、残る人生をシルバー
でもこの感覚で生きてみたい。
(I)

家事援助関係で困っている
人達がたくさんおり、その対
応が今後の課題です。(A)

編集委員長 山田 富雄

委員 相庭 泰雄

委員 倉澤 淳夫

委員 安西みつ江

事務局 佐藤 範一